



## 近況ご報告

スペースデブリに関する関係府省庁等タスクフォース第4回会合

株式会社アストロスケールホールディングス

2020年11月10日

# コロナ環境下での事業拡大



世界5拠点に拡大  
144名



シリーズE調達完了  
合計調達額210億円

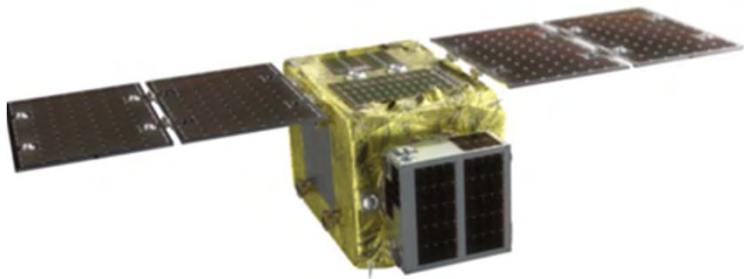


墨田区内で本社移転決定  
(衛星製造施設含む)



IAF (国際宇宙航行連盟)  
副会長就任  
WEF宇宙評議会共同議長

# ELSA-d (世界初のデブリ除去技術実証衛星)



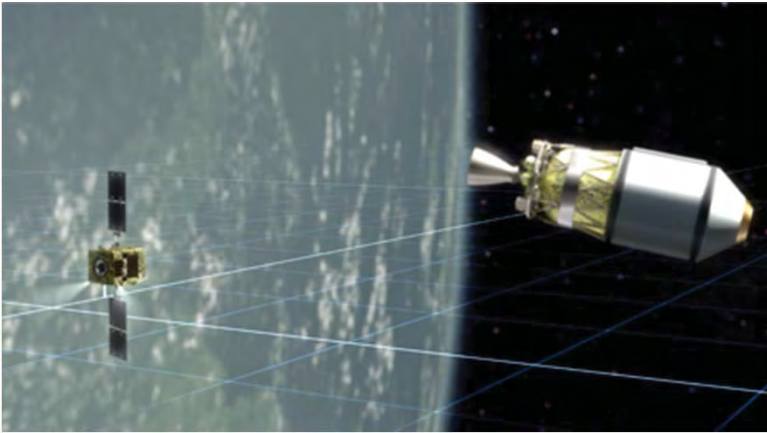
世界初：

- 非協力回転物体の捕獲
- 非連続可視環境での接近・捕獲
- 磁石で捕獲。ドッキングプレート (DP) を事前に取り付けた衛星を対象
- ミッション保険の組成

# 既存大型デブリ除去実証 (JAXA CRD2)

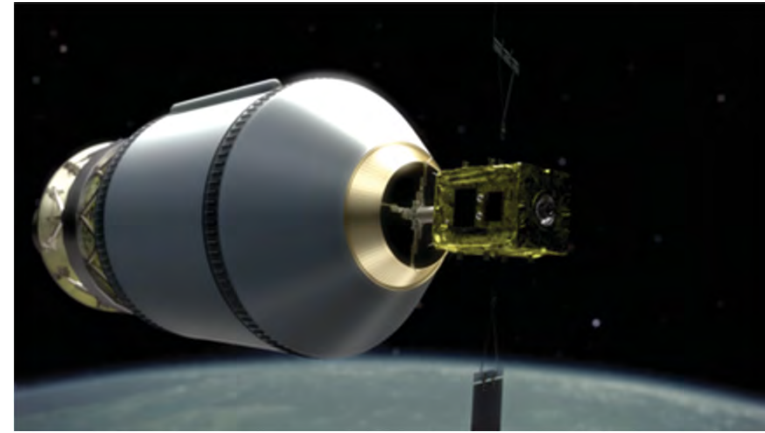


## フェーズ1 (接近・観測)



- 地上からの安全な接近と運動推定
- 現在進行中
  - 1月に採択、3月に契約
  - 9月から10月にかけて基本設計審査 (PDR) をJAXA様と重点的に実施
  - 2022年度の打上げを予定
  - ELSA-d実績の活用とJAXA様の強力なサポートにより迅速に開発を進めている。

## フェーズ2 (接近・捕獲・除去)



- 今後の大型デブリ除去に必要な『制御降下』と『制御再突入』
- 現実的かつスムーズなフェーズ2実施を希望
  - 既存デブリ同士または既存デブリ由来の破砕物とのニアミスが多発
  - 欧州による除去実証プロジェクト進行中。米国ではSpaceX社がロケット上段の除去について言及。
  - FCC (米国連邦通信委員会) のデブリ低減ガイドライン見直しのほか、世界でSTM (宇宙交通管制) に関する議論が活発化
  - 2021年度中の公募、2022年度からの開始、2025年度打上げであれば、世界に先駆けた実証を通じて、日本が国際的なルール作りの議論を牽引できる。